

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1965
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.58, No.6 (1965. 6)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19650601--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田學



1965年 6月号

論 説

- 近世前期における「経世済民」論の展開……………島崎 隆夫 1
— 山鹿素行の場合 —
- 社会主義経済建設における
後進国型とその中国的展開(三)……………平野 絢子 21
- 農家家計構成員の労働供給スケジュール(II) ……鳥居 泰彦 48
— 常住世帯員男子・女子グループ別の計測 —

学界展望

- 日本の近代化……………中村 勝己 82

書 評

- 高橋沈著「日本的労資関係の研究——「企業別組合」の
構造と機能を中心として——」……………飯 田 鼎 93

新刊紹介

学位授与報告

経済学会報告(昭和39年度)

昭和40年上半年総目次

58 卷 6 号

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 58, No. 5

May, 1965

CONTENTS

Articles

- Formative Process of Trade Union Organization
at the Eve of Industrial Revolution in England……………*K. Iida* 1
- Labor Supply Schedule of Farm-Household……………*Y. Torii* 32
- Foreign Market Structure of Primary Products ……*T. Tanaka* 71

Note and Memoranda

- Marx's Concept of "Capital in General"
and the Theory of Competition ……*H. Iida* 102
- The Public Lands in the United States:
A Note ……*Y. Okada* 121

Book Reviews

- J. Tinbergen; International Economic
Integration, Second Revised Edition ……*H. Fukami* 136
- Y. Itagaki and N. Yamamoto ed., Analyses
of and Prospects for the European
Economic Integration……………*M. Ōyama* 143

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
 (The Keio Economic Society)
 Editorial Communications to be sent to
 the Editor, Keio Gijuku Keizai Gakkai,
 Keio University,
 Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
 Price 120 yen

新刊紹介

沢崎堅造著『キリスト教経済思想史研究』……中村勝己	98
——ルーテル、カルヴァン、 聖トマス、アウグスチヌス研究——	
J. ジョンストン著『計量経済学の方法』……佐藤保	98
竹内啓訳	
F. ハーピソン, C. A. マイヤーズ著 川田寿, 桑田宗彦訳	
『経済成長と人間能力の開発』……佐藤保	99

近世前期における「経世済民」論の展開

——山鹿素行の場合——

島崎隆夫

- 一 序
- 二 「儒者」の発生と「儒教」の歴史的評価について
- 三 近世前期における「儒者」と為政者との結合について
- 四 山鹿素行における「経世済民」論の形成
- 五 むすび

一 序

わたくしは拙論「近世経世済民論の生成について」(「三田学会雑誌」五六巻九号、一九六三年九月号)において、^(注1) わが国における「経世済民」論成立の端緒を検討し、その端緒期としてほぼ戦国期—近世初期の時代を取り上げた。この時期は、「経世済民」についての思想が、旧来の全く断片的に他の諸思想と相混淆して存在していた状態より脱却させられ、識者により意識的かつ具体的に述べられるに至った時期であった。一方では中世以来の社会にはすでに変質がみられ、とくに農村における社会関係・経済構造は変化し、都市・商業の発達がみられ、これらにもなって政治権力機構の存在形態も変化をとげるに

近世前期における「経世済民」論の展開